

# 平井東小学校応援団実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

平井東小学校長 深津 郁子  
 コーディネーター 芳賀 秀彦



## 2 ボランティア登録数（平成30年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	65人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ応援団	月2回	20
図書整備応援団	月4回	15
学習補助応援団	不定期	30



### 平井東小学校学校応援団

#### 地域

- ・荒川環境学習のゲストティーチャー
- ・地域お招き会での交流学習
- ・学習支援
- ・ナイトウォークやマラソン大会など様々な地域行事

#### PTA・保護者

- ・読み聞かせボランティア
- ・荒川環境学習での安全見守り活動
- ・地域パトロール
- ・運動会の準備、片付けなど学校行事の支援
- ・PTAやパパスクラブ（父親の会）による行事
- ・学習支援

#### すくすくスクール

- ・指導の一貫性  
(学校との情報交換)
- ・子供の活動の場の拡大  
(親子で遊ぼう会・工作教室・ひらこまはらっぱなど)



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・今年度も、区の「学校図書館活用推進校」として学校司書が1名（毎週火・金曜日）配属され、図書整備応援団と連携した活動を行うことができた。学校図書館の環境整備や本の修理を定期的に継続して行うことにより、子供たちが「本を読みたい」「調べ学習をしたい」と、意欲をもって来室し、学習できる場となっている。
- ・毎月定期的に行われる「朝の読み聞かせ活動」では、どの学年の教室でも子供たちが目を輝かせて読み聞かせに聞き入り、確実に本好きな子供たちが育ってきている。
- ・本校の大きな特色の一つである「荒川環境学習」には、応援団の協力が欠かせない。「子供たちとともに楽しむ」という姿勢で、活動を続けたい。
- ・運動会の後片付け作業に、パパスクラブを初めとするたくさんの保護者・地域・卒業生の協力があり、「学校を応援したい」という気持ちをもつ方が多いことが分かる。



### <課 題>

- ・子供の卒業とともに抜けてしまうメンバーもいる。無理なく多くの保護者や地域の方（卒業生の保護者含め）が学校応援団として参加できるよう、少しずつ組織を再編成していく必要がある。
- ・図書室の環境整備や読み聞かせ活動を授業や図書委員会の活動とリンクさせるなど、児童と応援団とがお互いに関わり合いをもてるような工夫もしていきたい。
- ・応援団の活動の様子をホームページでも紹介しているが、さらに紹介方法を工夫することで、その活動を広く周知していきたい。

## 5 コーディネーターより

『出来ることから少しずつ』、これが本校PTAと学校応援団の共通する合言葉です。連合運動会、祭礼、マラソン大会、ナイトウォーク等々、小松川・平井地区には「地域で子供を育てる」という風土が強くあります。これからも、ひがしっ子の健やかな成長のために、私たち大人が「出来ること」を「少しずつ着実に」行っていきたいと思います。

日頃より、学校応援団の諸活動にご理解とご協力をくださる皆様に感謝いたします。



## 6 学校長より

地域に愛され、PTA活動が盛んな平井東小学校は、やさしく、すこやかな子供たちが育っております。そこには、様々な場面で子供たちの学習活動を支援してくださっている「学校応援団」の皆様のお力が欠かせません。

読書活動の充実に向け、週2回以上設けている朝読書の時間には読み聞かせ応援団の皆さんが参加してくださる日があります。図書整備応援団の皆さんは、毎週1回図書室に集まり、図書の整備や明るい環境作りを工夫してくださっています。また、学校に隣接する荒川を題材に、身近な自然の営みや、環境について主体的に関わる学習である『荒川環境学習』では地域の方が講師になって、荒川について教えてください。荒川に出かけて活動するので、安全の確保は重要な課題ですので、大勢の保護者の方々が見守りに来てくれています。今年度も教員志望の大学生が週に1日位ではありましたが「学習ボランティア」の一員として加わり、温かなまなざしで子供たちに接してくれました。

平井東小学校を愛する方々が、これからも学校応援団として活躍してくださることを願っています。どうぞよろしく願いいたします。